

# インディペンデンス Independence杯

ハンドボールを通して個人やチームの Independence（自立）を1番の目的とする大会です。本大会は選手の出場機会、試合経験、大会経験を増やすことをねらいとします。また、指導者の指導の確認や見直し、審判技術の向上を2番目の目的として開催します。なお、感染症防止対策を行い、その対策に沿って競技をしていくものとします。

- 1 主催 大崎市ハンドボール協会
- 2 主管 大崎市ハンドボール協会
- 3 後援 田尻中学校ハンドボール部、古川中学校ハンドボール部
- 4 期日 令和4年2月5日（土）～6日（日）
- 5 会場 大崎市田尻総合体育館
- 6 対象 5日・・・男子 6日・・・女子
- 7 競技規則 2021年度（公財）日本ハンドボール協会規則 並びに、本大会特別ルールによる。
- 8 競技について  
(1) 競技方法（大会特別ルール）

- ①監督、コーチはベンチに入りません。コートサイドにもいません。自チームの試合は2階席から観覧してください。（審判割によっては見られないこともあります。）
  - ・試合前からのチームの様子、試合中の選手同士のコミュニケーションやゲームの組み立て、劣勢時の立て直しの様子などを客観視して、指導の確認や見直しの機会とします。
- ②ベンチ入りしている選手は、2ゲームのうちに必ず出場するようにすること。（5分以上）
- ③同じ中学校で複数チームの参加を認める。（〇〇中 A チーム、〇〇中 B チームとする）
  - ・B チームの人数が7人に数名足りない場合は、A チームから借りることはできるが、大会の趣旨に沿って、出場機会の少ない選手を優先にすること。
  - ・A チームはユニフォームで、B チームは最初からビブスという分け方ではなく、A も B も基本はユニフォームで、相手チームと色が重なったときにビブスを着るようにする。
- ④予選リーグ（13分ゲーム）を行い、その後順位別リーグ（18分）を行う。・・・（予定）
- ⑤オフィシャルは置かず、2分退場の際は自分たちで時間の管理をして入場する。（試合結果は担当審判員が会場のホワイトボードの対戦表に記載する。）
- ⑥試合開始と終わりのあいさつは選手同士が向かい合っただけとするのみ。（入場などは無し）
- ⑦トスは試合開始前にキャプテンのジャンケンで行い円陣やボール回しは無しで開始する。

- (2) 使用球：（公財）日本ハンドボール協会検定 新2号球（男子）、新1号球（女子）とする。
- (3) 試合日程：チーム数が決まり次第お知らせします。
- (4) ユニフォーム：試合は基本的にユニフォームで行う。同系色の場合はビブスで対応する。

- 9 参加料：1チーム 3,000円（2チーム目2,000円 3チーム目1,000円とする）  
（当日集金：A・Bの2チーム出場の場合は5,000円です。3チームだと6,000円です。）

※協会掲載用の要項のため、割愛部分があります  
完全版の要項は県内各校に配布しています。

大崎市ハンドボール協会

会長：三浦昇

鈴木芙美子 小野寺皇貴

今野大樹 小林智裕

大会担当

古川中学校

今野大樹